第10回教育委員会臨時会議事要録

詳細—教育部庶務課 電話03-3981-1141

附属機関又は 会議体の名称	第10回教育委員会臨時会議事要録	
事務局(担当課)	教育部庶務課	
開催日時	令和6年8月2日 午前9時00分	
開催場所	教育委員会室	
出席者	委員	金子 智雄(教育長)、 新井 裕(教育長職務代理者)、大澤 誠、岩井 由美子、富士原 紀絵
	その他	教育部長、庶務課長、学務課長、放課後対策課長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長、
	事務局	庶務課庶務グループ係長、庶務課庶務グループ係員
公開の可否	公開 傍聴人 30人	
非公開・一部公開 の場合は、その理由		
会議次第	第21号議案 豊島区立学校教科用図書採択について(指導課)	

休憩時間 : 00 : 00

終了時間 : 14 : 47

第10回教育委員会臨時会議事要録

開催日 令和6年8月2日

開催場所 教育委員会室

事務局)

皆様、おそろいでございます。

本日、教育施策推進担当課長と学務課長が公務のため、欠席でございます。

本日、傍聴の方は30名いらっしゃいます。

金子教育長)

おはようございます。

これより第10回教育委員会臨時会を始めます。

本日の署名委員をお願いいたします。大澤委員、富士原委員、宜しくお願いいたします。

傍聴の申込み30名いらっしゃいます。傍聴を認めて宜しいでしょうか。

(委員全員了承)

金子教育長)

では、お入りください。

<傍聴者入場>

金子教育長)

それでは、事務局より傍聴者の皆様へ注意事項をお伝えいただきたいと思います。

庶務課長。

<庶務課長注意事項説明>

金子教育長)

只今より、令和7年度から使用します中学校教科用図書の審議を行います。

それでは、配付資料の確認を事務局をお願いいたします。

庶務課長。

<庶務課長 資料説明>

金子教育長)

次に、令和7年度使用教科用図書の審議までの経緯につきまして、教育部長より説明をお願いいたします。

<教育部長 資料説明>

金子教育長)

ここで、審議の方法について申し上げます。

既にご承知の通り、東京都への採択結果報告期限である8月31日までの間は、審議の過程に関する内容につきましては、守秘義務が課せられております。しかしながら、教科書発行社名を伏せて審議を行いますと、審議内容が分かりづらいといったこともあり、教科書発行社名を明らかにして審議を行いたいと思います。審議後、採択発行社名を公表いたします。

また、採択の方法につきましては、公平で公正な採択を行うため、無記名投票により行いたいと思います。

これらについて、委員の皆様からご意見ございますでしょうか。宜しいですか。

(委員全員了承)

金子教育長)

それでは、教科書会社名を明らかにして審議をし、無記名投票による採択といたします。

なお、投票の結果が分かれ、過半数を超えるものがない場合には、投票数の多いものを尊重しつつ、再度審議の上、決定をしまいたいと思います。

それでは、中学校教科書の審議に入りたいと思います。審議の手順について、事務局からご説明をお願いいたします。

指導課長。

<指導課長 説明>

金子教育長)

それでは、国語の選定資料について、事務局よりご説明をお願いいたします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ありがとうございました。

それでは、ここで委員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

岩井委員、お願いいたします。

岩井委員)

ありがとうございました。

今光村図書の教科書についておっしゃっていただいたことに加えますが、国語科は話す、聞く、書く、読むといった技能を中学生の時期に身につけてほしいという気持ちがございます。また語彙を豊富に学び得ることが出来る教科書であってほしいという観点から、本を拝見いたしました。そして、本の中に、これらの活用場面が多く見られる本が私は良いと思いました。

また、「学習の見通しをもとう」というところで、豊島区が力を入れているSDGsへの関心を深める内容になっている作りになっているところも、とても良いと思いました。

中学2年生の方の教科書では、自分自身が若い頃に読んで深く感銘を受けた「走れメロ

ス」なども載っております、今の中学生にも是非読んでほしいと思いました。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。

富士原委員、お願いします。

富士原委員)

ご説明ありがとうございます。

私は特に今主体的・対話的で深い学びが推奨されていて、対話というところについて、特に中学校、小学校に比べて中学校でどうしても教え込みになりやすいというところで、やはりそれがどれだけ対話的な学びを指導するときに意識されているのかという、そういう書きぶりになっているかというところを中心に拝見しました。どの教科書会社もそのような書きぶりがあるのですが、特に対話的な学びを展開している教科書というものを選定したいと思いました。

今、岩井委員もおっしゃったように、豊島区はSDGsにとっても力を入れておりますので、SDGsとの関わりが分かりやすい、そのような教科書を選びたいと思っております。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。宜しいでしょうか。

それでは、他にご意見ございませんようでしたら、この国語につきまして、お手元の投票用紙で投票をお願いいたします。グレーのファイルに挟みまして、机の端に置いてお待ちいただきたいと思っております。

それでは、お願いいたします。

<委員投票、確認>

金子教育長)

只今ご確認いただきました通り、過半数を超えるものがございましたので、これで国語についての審議を終了したいと思います。ありがとうございます。

それでは、書写の選定資料について、事務局よりご説明をお願いします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明ありがとうございます。

それでは、委員の皆さんからご意見をいただきたいと思っております。

どうぞ、岩井委員。

岩井委員)

ご説明ありがとうございます。書写は、中学生には文字を正しく整えて、速く読みやすく書くことが出来る書写能力を身につけてほしいと思っております。これは手本文字を見なが

ら、自学自習で学ぶことが出来るため、その際の学習に負担感がなく、また視覚で理解しやすい構成が望ましいという観点から拝見いたしました。

見せていただきたいのですが、宜しいでしょうか。

<モニター投影>

こちらの中学で身につけたい書体の行書の学習のページがございます。「緑」という字が見開きのページで、楷書と行書が同じサイズで大きく書かれており、その差はもう一目瞭然です。分かりやすいということは、こんな字を書いてみたいというやる気に繋がるとも思いました。

また、次のページも同じように「中学」という文字が少し小さくなっておりませんが、楷書と行書で分かりやすく書かれておりまして、「行書スイッチを入れよう」と書いてありますが、まさに行書スイッチが入るつくりになっていると思いました。

巻末に人名用漢字表という、こういうとても良い表が載っていて、社会に出ると人の名前を手書きで書くような機会もありますので、硬筆で楷書と行書でしっかり書かれているお手本がありますので、今身につけておくと、とても役に立つと思いますし、一家にこの1冊が置いてあると家族みんなで勉強になるような本のつくりになっていると思いました。

金子教育長)

ありがとうございました。

他にございますか。宜しいですか。

特にこれ以上ないようでしたら、書写について、お手元の投票用紙で、同じように投票をお願いいたします。

<委員投票、確認>

金子教育長)

只今ご確認いただきました通り、過半数を超えるものがございましたので、これで書写についての審議を終了いたします。

それでは、次に地理の選定に入りますので、教科書の入替えをお願いいたします。

宜しいですかね。それでは、地理の選定資料について、事務局よりご説明をお願いいたします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明ありがとうございました。

それでは、ご意見を賜りたいと思います。

岩井委員、お願いします。

岩井委員)

ご説明ありがとうございました。

地理という教科は、世界や日本の諸地域に暮らしている人々がどのような暮らしをして

いるかについて、学んでいく教科と考えています。こうした学びの特質を考えますと、多くの写真やグラフ、データなどの情報がたくさん掲載される必要があるイメージがありますが、ただその量が多過ぎるとかえって中学生には理解がしづらくなることもあると思います。

その点で、例えば時差についてのページで、東京とロンドンとの2か所が写真とともに掲載されている本がありまして、その時差の入り口については、非常に分かりやすいものとなっていると思いました。それ以上の国については、その隣に「時差の調べ方」という項目がしっかり載っていたので、そこを参考にして自分で調べようと思うきっかけにもなるのかと思いました。

もう一点ですが、巻頭の見開きでやはりSDGsを紹介している本がございました。世界中で取り組んでいる様子という現実を改めて意識出来るような地理の学びの入り口としてはとても良いと思いました。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。

大澤委員、お願いします。

大澤委員)

やはり自分で考えていくということが大切だと思いますので、それを念頭に置いて、見て回りました。世界は広いですから、いろいろな方がいらっしゃることも考えて、自分でどうしてだろうと思うことが大切だと思います。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。宜しいですか。

他にご意見ないようであれば、地理につきまして、お手元の投票用紙で投票をお願いしたいと思います。

< 委員投票、確認 >

金子教育長)

それでは、只今ご確認をいただきました通り、過半数を超えるものがございましたので、これで地理についての審議を終了いたします。

続きまして、歴史の審査に参ります。歴史の選定資料につきまして、事務局からご説明をお願いします。

指導課長。

< 指導課長 資料説明 >

金子教育長)

ご説明ありがとうございます。

それでは、ここで委員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。いかがでしょう

か。

新井委員、お願いします。

新井委員)

ご説明ありがとうございました。

各社の教科書を拝見いたしました。それぞれ工夫があつて、良さがあつてどちらもすばらしい教材だと思いました。

社会科の学習は、やはり知識の習得、これは大事なことの一つですが、出会った事象から学習課題を捉えて解決を図る、いわゆる問題解決学習をしっかりと進めていく必要があります。その点でこのような資料の提示というのは非常に大事な要素になると私は思っております。

また、先程来、指導課長からありますように、本区の生徒の学力の課題として、関連付けて学んでいくということ、ここは非常に問題があるということですね。こちらの教育出版の図書を見ていきますと、見開きで学習の方向性まで示されているということです。歴史的な事情は丁寧に取り上げておりますので、各社も丁寧ではありますが、歴史が苦手だという子供にとっては、やはり意欲を高めるという観点も必要だと思います。

また東京書籍の場合ですと、SDGsの観点、それから近代の諸問題、これを歴史でも細かく取り上げていますので、非常に優れていると思えました。また、デジタル教材も潤沢、これはすばらしい画像とともに出ていると思えます。

そして帝国書院の場合につきましても、なかなかすばらしい、これも同じ中世の導入ですが、実はこの次にタイムトラベルという部分があつて、この資料のページ、私はこういうのは面白い、なかなか工夫があるものだなと思えます。小学校と中学校の連携の中で、資料を見て、子供に、「これは何だろうな」「これはどうするんだろう」という気付きを与えるものというのは、やはり必要かなと思えました。

これを見ていきますと、当時の農民の様子や、武士が支配し出して検地・刀狩ですか。このような様子も意図出来ますので、いろいろな面からこれが読み取れる資料の一つかなということで優れているのでないかと思えます。キリスト教伝来も入っていますね。ですから、一面的ではない捉えが出来る工夫された資料ではないかと思えます。

実は、207ページに本区の特徴として、トキワ荘があります。これは手塚治虫さんと鉄腕アトム画像ですが、帝国書院はこの二つをしっかりと出しています。長嶋茂雄さんのところで出ていると思えますが、手塚さんも必ず多くの社で掲載されています。ですが、アトムがここまで大きく出ると、アニメを推奨している区としては引かれるものがあるのかなという気はいたします。

また、帝国書院の場合ですと、やはり歴史に興味を持つものにとっては、なかなか資料が豊富だと思います。

例えば、小学校のときに江戸時代に不平等条約などを学んで、それが意外とうやむやになってしまう嫌いがあったと私は思います。帝国書院の場合ですと、陸奥宗光、小村寿太

郎をしっかり書いていて、これは参考資料として出していますが、小村寿太郎もしっかり写真で出していて、こういう人だったのかということが分かり得る資料の一つかなと思います。

織田信長の天下布武というのは、かなりこれは歴史が好きな人は分かるもので、最近出てきた言葉と思います。これを帝国書院は載せているといった点では、面白い、子供が興味を持ちやすい教材の一つかなと思います。

金子教育長)

ありがとうございました。

他にご意見をいただけますでしょうか。

富士原委員、宜しくお願いします。

富士原委員)

私も全て目を通させていただきまして、本当にどの教科書会社も大変工夫を凝らしているなというところは、よく分かった次第でございます。

私も幾つかの観点を自分で定めながら拝見しました。国語のときにも申し上げましたが、一つは主体的・対話的で深い学びの特に対話のところにどれだけ資する工夫がなされているかというところで、子供たちが一つの資料を、いろいろ読み取って、それに対して意見を言えるような、そういう活動が意図的に数多く組み込まれている教科書が良いのではないかなと思います。中学校の歴史は、一人でこつこつ知識を獲得していくというスタイルになってしまいがちで、歴史が得意ではないという子供にとって意欲的に取り組む妨げになってきたと思いますので、みんなで活動し合いながら学べるという教科書は魅力的だと思いました。

それともう一つ、やはり中学校の場合、教科は社会科であって、日本史ではないので、世界と日本の歴史をバランスよく載せているということは、大前提だと思います。世界中の日本、日本から見た世界、という両方をバランス良く掲載しているということは、これは大前提の条件だろうと考えています。

他に、私個人的に注目するのは、歴史の英雄観です。私のような古い世代は偉人の歴史が日本の歴史のような感じで学んできました。世界史もそうです。その点において、一例として出しますと、学び舎は人間の歴史という形で、人類史として歴史を描き出そうとしているのは、一つの特色として、私は大変注目すべきだと思っています。その人間の歴史を学ぶ上での工夫として……。

<モニター投影>

例えば、この火おこし体験をしてみるなど、活動としては中学校かなという気もしますが。また、日本だけではなくてどの国でも衣類というのは繊維産業として大変重要なわけで、綿から糸を紡ぐという体験活動の中で対話的な学びということが展開出来る可能性があるというところで、人類の市井の、人間の歴史を描こうとしているところでは、大変一つ特色はあるかなと思っています。

ただ、他社でもこのような活動は、少なからず取り入れられていて、どれだけ現場でこのような活動を指導出来るか、どれだけ実現出来るかというのは、少し心配なところもあります。ですが、純粹に教材だけで申し上げると、今ご紹介していた活動は大変魅力的かなと思えました。

それから、近代の部分はいろいろな特色があるわけですが、先程申し上げた通り、英雄物語にならず市井の人間、あるいは国民というものがいかに創出されてきたのかということに大変意図的な教科書もございまして、国民が創出される一方でそこから除外される人々もいます。そのような人たちに目を向けて、その点でしっかり書かれているのが帝国書院です。近代国家と国民の創出という形で、近代を学ぶ上で日本だけではなくて、やはり世界の帝国主義というようなことをきちんと把握する上で重要ではないかと。難しいような気もするのですが、でも実は基本的でとても重要な内容で、しかもそこから除外される人々もいるまで書き込まれているというところでは、大変貴重な指摘をしている教材だと思いながら、近代などでは大変目を引く記述だと思いながら読ませていただきました。

他社も、この辺りの内容は書かれてはいますが、どれだけ書きこむかということと、先ほど申し上げたような活動からそういうところに迫れるかということが、一つポイントになるかと思いながら読ませていただきました。

金子教育長)

ありがとうございました。

他にございますか。宜しいですか。

では、これ以上ないようございまして、この歴史につきまして、お手元の投票用紙で投票をお願いいたします。

< 委員投票、確認 >

金子教育長)

それでは、只今ご確認いただきました通り、過半数を超えるものがございましたので、これで歴史についての審議を終了いたします。

それでは、ここで少し早めですけれども、休憩にいたしたいと思います。教科書の入れ替えもございまして、それも含め15分取りますかね。大体今10時ですので、そちらの横にある時計で10時15分まで休憩を取りたいと思います。トイレ等ございましたら、この時間帯に行っていただければと思います。

(10時 00分 休憩)

(10時 15分 再開)

金子教育長)

それでは再開をしたいと思います。

引き続き審査をいたします。それでは、次は公民ですね。公民の選定資料について、事務局から説明をお願いいたします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

説明ありがとうございました。

それでは、委員の皆さんからご意見をいただきたいと存じます。

新井委員、お願いします。

新井委員)

ほとんどの社がSDGsについて盛り込んでいる、公民の教科書の特徴だったと思います。当初ある社を見たら、最初からSDGsが出ているなと思いました。次の社の方を見たらまた最初から出ているという、全ての社ではもちろんございませんが、ほとんど表紙、裏表紙あたりを使ってSDGsへの意識化、意識付けを図っているのが特徴だろうと思います。全ての社ではもちろんございませんが、東京書籍の場合は、入り方がもう持続可能な社会の実現に向けてという裏表紙から、すぐ単元1がここから「現代社会と私たち」のところですかね。ここがSDGsの突破口ということで入っているということと、それから最後の第5章ですかね、「地球社会と私たち」。ここでもほとんどSDGsを扱っていて、教科書全体を通してSDGsの意識づけが貫かれている教科書の構成かなと思いました。

そのような意味では、環境、エネルギー、それから人権、平和、伝統、文化、防災、安全、情報技術等々、そのようなところの迫り方が上手く出来ていると思います。

最終章、この部分でもより良い社会のこの部分ですよ、ここでも卒業する子供たちにとって、本区はSDGsを推奨している自治体でもありますので、それについて生徒一人ひとりが意識を持って卒業し、また高校あるいは社会に出ても、それを役立たせようといった構造になっていると思います。

帝国書院も、見開きでもSDGsが出ていて、優れたものと思います。特に207ページですかね、ここにSDGsのカレンダー、これは区でも使ったことがあるような、問題を提起する場合にはこのようなものが用いられやすいですが、この資料を使っているということですね。これが特徴的であったかと思います。

また本区では、トキワ荘を文化の一つのシンボルとしていますので、生徒もそれに対してこの教材の中でもやはりアニメ、文化、そういうことに対しても書かれているということですので素晴らしいと思います。

いずれにしても、小学校と地理、公民分野こういったものの繋がり、小学校の社会から公民の繋がりというのは非常に難しさがある部分ですが、SDGsを一本化して取り入れている観点というのは素晴らしいと私は思いました。

金子教育長)

ありがとうございました。

他にございますか。

岩井委員、お願いします。

岩井委員)

公民の学習のテーマは非常に身近なものではあるものの、言葉がやはり子供にとっては少し難しく、内容も実は高度で抽象的なものも多いことから、地理や歴史に比べて苦手かなという話を身近な中学生から聞きまして、このような観点から見せていただきました。

そういたしますと、見た目や生徒の興味、関心を促す資料の掲載が分かりやすく載っているものが良いなと思いました。

先程、新井委員が東京書籍の教科書について発言いただきましたが、小学校の学びからのイメージの理解ですとか、小学校の社会科で習った言葉のような用語解説が中に入っておりまして、小学校でそういえばこういう勉強をしたなイメージしながら、中学生が勉強出来るようなつくりになっているかなということがありました。

また、人気アニメの主人公や、マンガで学ぶ交渉術、あと映画館でおなじみの皆さんよくご存じだと思うのですが、犯罪行為の警鐘を鳴らすビジュアルなどがいろんなところにちりばめられていて、そういうところもやはり中学生にとっては見たことあるというような感じで入れるかなと思いました。

それから「まとめの活動」というページが私はとても良いなと思いました。苦手だなと入った子供にとっても、このページは非常に自己の達成度が測れるつくりになっているなと思ったので、ここでしっかり達成感を持って、次のステップに繋げることが出来るかなと私は思いました。

以上です。

金子教育長)

ありがとうございました。

他にございますでしょうか。宜しいですか。

これ以上ないようでしたら、公民につきましてお手元の投票用紙で投票をお願いいたします。

<委員投票、確認>

金子教育長)

只今ご確認いただきました通り、過半数を超えるものがございましたので、これで公民についての審議を終了いたしたいと思えます。

それでは引き続き、地図の選定をいたしたいと思えます。地図の選定資料につきまして、事務局よりご説明をお願いします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明ありがとうございました。

それでは、委員の皆様からご意見をいただきたいと思えます。

大澤委員、お願いします。

大澤委員)

2社とも原則的には地図帳ですから、資料として、いかに見やすいかというのが問題だと思います。それで今ここに二つ出してみたのですが、北海道の地図に関して、両社とも地図が真下を向いておらず、少し傾きがあります。原則的には地図だから、本当ならばルールと言ったら上が北というのだと思いますが、地図を入れるに当たって、そういう向きになってしまうのかなとも思いました。それほど問題にはならない部分ですが、あまりずれることはないと思います。とにかく資料ですから、よく見やすいものが良いと思います。以上です。

金子教育長)

ありがとうございます。

紙面の都合とかそういうのもあるかもしれませんが、多少。確かにご指摘の通り。

他にご意見ございましたらお願いいたします。

どうぞ、新井委員。

<モニター投影>

新井委員)

両社とも、地図帳としては個性があって使いやすいと思っています。面白い。私は地図が好きなので、使い勝手が良いと思っています。一つ見えるか分からないですが、これは帝国書院の伝統的な地図帳ですけども、この東京都の例えば神津島に、ここはそんなに中学で細かく学ぶことはないと思いますが。神津島、それで式根島もちゃんと出ていて、式根島で教員やった経験もあるので見てしまいましたが、すごく良い。これはすごいなど。

一方、これは東京書籍の地図帳ですね。東京書籍の地図帳もすばらしい。伊豆諸島を見たときに、神津島があります。

神津島は両社ともありますけども、ここに天上山というのがあります。これは島の人でないと分からないかもしれない。伊豆諸島でも知っている人はなかなかなくて、すばらしい景観を持った東京百景に入る天上山ですね。これが載っているというのはすごいな、よく書いたなと僕は驚嘆しました。

以上です。

金子教育長)

他にございますか。宜しいですか。

それでは、特にご意見ないようでございましたら、地図につきましてお手元の投票用紙で投票をお願いいたします。

<委員投票、確認>

金子教育長)

それでは、只今ご確認いただきました通り、過半数を超えるものがありましたので、これで地図についての審議を終了いたします。

続いて数学になりますので、少し入替えの時間をいただきたいと思います。

それでは、続いて数学の選定に参ります。選定資料につきまして、事務局からご説明をお願いします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明ありがとうございました。

それでは、委員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。

新井委員、お願いします。

新井委員)

数学は、小学校から上がって最初につまずきやすいところが、一次方程式ですね。結構苦手となる生徒が出てくるだろうと思います。ここで数学が嫌いになってしまうと、本当に元も子もありません。ここでいかに数学に興味を持って取り組むか、これは大事なところだと思います。いいですか。

<モニター投影>

それで、東京書籍の91ページ、一次方程式ですね。何個取れたのかなというところが、リンゴの問題があって、ここからリンゴの個数を求めてみようということで、小学校の算数でもこういった導入が図られていて、非常に違和感もなく進む、導入がスムーズだろうなと思います。

さらに考えさせていくわけですが、その解に入っていく。つまり導入段階で3ページぐらいですかね、しっかり方程式の解に至るまでゆっくり導いているのが特徴かなと思います。イラストもかわいらしい、小学校で扱った垂直線の問題も適宜取り入れている、ただそれほど強調はされていないというところが良いのかなと私は思いました。

教科書の構成も、実際には調べ、それから確認、シミュレーション、それからフラッシュカードの取り入れ、ヒントと回答をデジタル化しているというところで、どの子にとっても非常に使いやすい教材、デジタル化されているものについては、分かりやすいかなと思います。全部やる必要はないわけで、その中でこの問題、私はこの問題なら出来るとか、この解説が良いというのが選べる良さがあるかなと思います。

また、事象も社会との繋がりをしっかり見据えた導入を図っていく必然性があるというような気がいたしました。

また、他社もよく工夫されているなと思いましたがけれども、啓林館なんかもそうですね。導入も必然的な内容となっています。ただ数学が苦手な子供にとっては少し難しい、難度はやや高いかなという気もしないではありません。これは私の感じたところでございます。

だから、そういった面では教員の力量が問われる。どうやってこれを理解させるか、学ばせるか、興味を持たせるかというところについては、必要性が高いことだと思います。

教育出版もそうですね。教育出版はシンプルな構成かなと思います。もうずっと一次方程式の解に入っていくって、もうすぐ演習に入るという構成。もちろん学習意欲を高めるた

めには手だてが必要な教材だと思いました。

以上でございます。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。

富士原委員、お願いします。

富士原委員)

私も数学を見させていただきまして、どの教科書会社もとても工夫されていることがよく分かりまして、特に現実社会との繋がり、生活との文脈ということをご社さんもとても意識されていて、その点の工夫がすばらしいなと思いながら新井先生のお話を伺っていました。

結構差が出るところで言うと、何度も申し上げていますが、対話的な学びをどれだけ導入するかは、教科書会社によって結構差があります。数学という教科の性質上、対話的な学びをどれだけ重視するかというのは、いろいろ判断が分かれるところだと思います。やはり対話的な学びを通して多角的に考えるということが重要な教科と、もちろん対話的な学びはした上で、やはり最終的には個人の中で思考が深まることが大事な教科と、教科の性質の違いもあるかなと思います。

私にとっては対話的な学びを重視した教科書も魅力的ですし、主体的に深い学びをより掘り下げる教科書、どちらも魅力的ではありますが、やはり数学というものの性質を考えると、個人の高まりというところを追求する必要がある、そうしたときに、東京書籍の場合は「学びを振り返る」という項目内の振り返りがあって、さらに章末には「振り返りレポート」ということで、個を深めるというところに焦点を当てたつくりになっているかなと思います。

一方で、例えば日本文教出版のワークシートは、明らかに対話の学びをしようというシートのようなものがあって、対話を積極的に促すというような、対話シートというのでしょうか。こういうのもすごく工夫があって良いなと思って、どちらも良いなというところで判断をしていきたいなと思っている次第です。

以上です。

金子教育長)

ありがとうございました。

他にございますでしょうか。宜しいですか。

他にご意見ないようでしたら、数学につきましてお手元の投票用紙で投票をお願いしたいと思います。

< 委員投票、確認 >

金子教育長)

それでは、只今ご確認いただきました通り、過半数を超えるものがございましたので、

これで数学についての審議を終了いたします。

それでは理科に参ります。

それでは、理科の審査に入ります。理科の選定資料につきまして、事務局からご説明をお願いします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明ありがとうございました。

それでは、委員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。

大澤委員、お願いします。

大澤委員)

どの教科書も見ていてなかなか面白いなと思っておりますが、特に実験のとき、今あまり理科室へ入っても器具も薬品もほとんど置いていない状態です。実験はやはり事故がないようにするのがまず第一番だと思います。それから教科書としては、自分の考えをどのようにしていくのかという方向性がはっきり分かるようにするというのが一番だと思います。

特に数学とか理科というのは、1回嫌になってしまったらもう嫌になってしまうのですね。だからやる気がなくならないように、興味を持たせるようにするのは、非常に重要だと思います。

金子教育長)

ありがとうございました。

他にございますか。

富士原委員、お願いします。

富士原委員)

大澤委員のおっしゃるように、本当に子供にやる気がなくならないようにというのは、教科書の工夫として、大変重要だと思います。

私の方でも見させていただきまして、まず一つ、は理科の場合は物化地生と4領域あるわけですが、豊島区の中学校で今使っている教科書、それと物化地生の配置が大きく異なっている教科書は、現場の先生が使いにくいかなというところは懸念しているところです。なので、出来るだけ物化地生の順序、これは大事に選定したいなと考えているところです。

それともう一つ、やはり幾つかの教科書では、生徒が考えてほしいところの答えを比較的すぐに載せていて、それは学びのやる気を促すのかそぐのかは難しいところですけど、教える側としては、やはり子供たちに考えてほしいと思います。そうすると、すぐにヒントとか答えが出ているというよりは、子供たち自身が考える工夫を成している教科書の方が学校で学ぶ学びがよいというものはあるのかなと考えました。

金子教育長)

ありがとうございました。

他にございますか。

どうぞ、新井委員。

新井委員)

理科はやはり問題解決学習をしっかり進めていくということが基本だろうと思っています。ですから答えがここにある、答えを導くような指導というのが、まだまだ現場では多いと思います。「残念、ハズレ」なんてよく先生が言っているが、そうではないと思います。そのようなことをよく研究授業とかでも拝見しますが、やはりそのような面から言うと、導入がしっかりしていて、その図示がしっかりしている。あるいは見通しがしっかり持てるような提示がされているというのは良いと思います。

東京書籍の方ですと、他社も非常にすばらしい点が多々、いろいろあると思うのですが、図示が本当に分かりやすい。きれいですね。以前大日本もそうだったのですが、今回の改訂を見てみますと、やはり東京書籍の図示は圧倒的に大きく分かりやすい。生物に関しても、実験の画像にしても、非常に分かりやすいというところを感じました。

また、学習の流れを最初に提示しているので、問題解決が非常に苦手な生徒でも受け入れやすい教科書になっていると感じました。

それからQRコンテンツですね、これも豊富です。これは楽しい、これは面白いと感じる子供たちも増えると思います。本区はタブレットを使っていますので、そういった面でも振り返りが出来るところでも、デジタル教科書投入が出来ると非常に良いと思います。

それから、何といてもSDGsの関連です。これは各学年でテーマ設定していますから、自然と3年間でSDGsを卒業までに体感出来る、学べるといった良さがあると感じました。

金子教育長)

ありがとうございました。

他には宜しいでしょうか。

これ以上ないようでしたら、理科につきまして、お手元の投票用紙で投票をお願いいたします。

<委員投票、確認>

金子教育長)

只今ご確認をいただきました通り、過半数を超えるものがございましたので、これで理科についての審議を終了いたします。

それでは、教科書の入替えをお願いいたします。

それでは、音楽について審議いたします。選定資料について、事務局よりご説明いたします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。

委員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。

新井委員、お願いします。

新井委員)

本区の生徒の課題ということで曲の特徴を捉える、これが課題の一つということではありましたが、まず私の方は今回雅楽の越天楽のところを見ていきたいと思います。

<モニター投影>

これは教育芸術社ですね。これでいくと雅楽の舞台、そこに実際に楽器の示しが出ています。これが良いか悪いかは別としましても、教育出版は大きく出している。その示しはないですが、具体的にこういったもので示している、こういう違いがございます。

それから、次はこれも教育芸術社ですが、「ひびきを味わおう」ということで、このようなワークシートが出ています。ここでは聞き取ったこと、感じ取ったことを書く、これは大事なことでどの先生方もやるのですが、実際に、この4のところのあたりでは1、3を基に越天楽の良さや美しさについて書き、意見交換をするということで、かなり深めています。私も小学校のときに音楽の先生が越天楽を聞かせてくれたことがあって、何だかよく分かりませんでした。いろいろな人の感じ方を聞き合い、話し合うことで、内容への深まりがあった記憶がございます。

また、越天楽の唱歌を歌おうということで、箏箏の唱歌の具体的なものが出てくることが特徴ですね。

それから、教育出版の方は唱歌を用いて越天楽を体験するというので、教科書上はここでとどまっていますので、そこはどのように先生がこれを膨らませるかというところが一つキーポイントになると思います。

実際にQRコードが両社とも出ていて、私も正直細かく拝見はしていませんが、教育芸術社で言いますと、「雅楽と宮内庁式部職楽部」、そこで弦楽器が使われるところも見てみようというようなQRコードで、要するにQRコードでの示しが分かりやすくなっているという点が特徴かなと思います。

いずれにしても教科書をヒントとして、それをどうやって膨らませていくか、他者とのコミュニケーションを図っていくか、こういった点も大事だと思います。

一方でSDGs、これは教育出版ですと、2、3年生の下では出ていました。ただ少し乏しいかなと感じましたね。教育芸術はかなりその辺では深い記載、多くの記載があるので、1年、2年、3年と来て、やはりこれもSDGsに絡んで意識付けが出来ていく教科書になっていると感じております。

金子教育長)

ありがとうございました。

他にご意見ございませんようでしたら、音楽につきまして、お手元の投票用紙で投票をお願いいたします。

<委員投票、確認>

金子教育長)

只今ご確認いただきました通り、過半数を超えるものがございましたので、音楽についての審議は終了いたします。

それでは、資料は載せてありますので、引き続き楽器について審査いたしたいと思えます。楽器の選定資料につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明ありがとうございます。

それではここで、委員の皆さんからご意見をいただきたいと思えます。

岩井委員、お願いします。

岩井委員)

ご説明ありがとうございます。

楽器は練習すればするほど上達して、高度なテクニックを身につければ、さらに多様な音楽を楽しめるようになることから、授業中以外の時間でも自主練しやすく、習得のポイントが分かりやすく書かれている構成になっている本が良いなと思えました。

教育芸術社ですが、例えばリコーダーのページはたつぷりと16ページ取っている中で、練習曲から高度なアンサンブルまでが段階的に掲載されていて、何度も振り返って練習をしたりすることが出来るようなつくりが、基礎から応用が楽しく学べるようになっているかなと思えました。

上達すれば友達や家族と合わせて合奏する喜びにも繋がりますし、こちらの巻頭に「じぶんの、そして、ひとのもの」というエッセイが最初に載っていて、楽器は友達であり、他の友達とコミュニケーションが取れるものということが書かれています。そこに繋がってくるのも良いと思えました。一冊を通して途切れることがなく、音を奏でることが楽しめるトーンで構成されているのが非常に良いなと思えました。

リコーダーの次にギターのパージが来ております。やはり身近な楽器ということでギターが来ておりますが、様々なギターの種類とともに代表的なアーティストの写真、このようなものが載っているのも非常に身近に、憧れてやってみたいな、バンドやりたいなというような気持ちに繋がると思えました。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にご意見ございますでしょうか。

大澤委員、お願いします。

大澤委員)

音楽は、私の場合は、実際に生活の中で聞くぐらいしかなくて、自分でやることはあまりないですが、医師会の偉い方の中で1人、壇上に上がってギターを弾くことが出来る方がいらっしゃいます。それを見て、他にもピアノを弾いているところを生で見て、とても格好良いなど、若いときにやれば良かったと思ったりしたのですが、このようなことは、なかなかすぐにやれと言われても出来るものではないです。興味を持ってやれるように指導するというのは、非常に難しいと思います。興味を持たなければ、音楽もどの科目もそうですが、進展しないという意味から言えば、興味を持たせることが一番の先生方のお仕事と僕は思っております。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますでしょうか。

どうぞ、富士原委員。

富士原委員)

2社とも本当に工夫されていると思いました。その中で、教育芸術社と教育出版で同じ演奏教材みたいなのを見てみると、教育芸術社の方が、パート割りが結構、多様で、教育出版社の方は1、2くらいの感じのもの等が散見されます。

となったときに、これ小学校でしたら小規模校とか、パート分けの難しさみたいなものを感じますが、豊島区の中学校なので、むしろパート分けはすごく多くて、皆がそれぞれの役割を担いながら合奏することになると思います。実際全員が合奏出来る機会を発揮することは、やはり大事だと思いますので、その点が一つ違いになるかなと思いながら共通の教材の作られ方を拝見しました。

金子教育長)

ありがとうございます。

合奏は結構各学校で中学の場合は盛んかなと思っています。コロナの時期に、一旦停止になっていた時期はありましたが、ようやく復活しまして、この間も東京都のコンクールで金賞と銅賞を取っていたかな。熱心にやられていると思います。

他にございますか。宜しいでしょうか

それでは、ご意見いただきましたので、投票をお願いしたいと思います。お手元の投票用紙で投票をお願いいたします。

<委員投票、確認>

金子教育長)

只今ご確認いただきました通り、過半数を超えるものがございましたので、これで器楽についての審議を終了いたしたいと思います。ありがとうございました。

では、少し早めですけれども、お昼の休憩を取りたいと思います。再開を13時、午後1時にしたいと思います。では暫時休憩いたします。宜しくお願いします。

(11時 30分 休憩)

(13時 00分 再開)

事務局)

委員の皆様、おそろいでございます。宜しく願いいたします。

金子教育長)

それでは、午前中に引き続き午後の審査を開始いたします。

まず、美術について行います。美術の選定資料について、事務局からご説明をお願いします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明ありがとうございました。

それでは、委員の方々からご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

新井委員、お願いします。

新井委員)

美術の教科書は、生徒がやはり興味関心をしっかり持てる、生徒の興味を引き出せる提示があるものが良いと思います。

<モニター投影>

それで、まず、このページから見ていきますと、これは日本文教出版のですけども、SDG sの取組ですね。これはロゴに関連しているものが入っている、教材の中に入っているということで、これは1年生、それから2、3の下の方にも同じようにページがあって、各学ぶ場面でSDG sの関連を示している、そういった特徴があろうかと思います。

また、シンボルマーク。こういったところでもSDG sとの関連を示しているところが特徴だと思います。

それから、浮世絵の鑑賞のところ、これも日本文教出版です。これは小学校でも親しんだ内容ですが、実際に見開きでこんな感じですね。これが原寸大の浮世絵の様子、これは他社でもあります。例えば光村図書もこれはSDG sの示しがあって、当然こういったロゴも入っています。それから今言った浮世絵です。浮世絵についても、資料が別になっている中で、こういった資料の中にあるのかなと思いましたが、しっかりこのようにあります。これは和紙の感じのページで、画質としては子供受けするのはどちらかというのは分かりかねますけれども、同じ大きさの原寸大で示しているところが特徴的で、見やすさがあると思います。

いずれにしても、日文教の場合の特徴としては、SDG sを3年間見通した掲載の方法を取っているという点がありますけれども、光村図書の場合ですとSDG sについては、2、3のページ、8ページぐらいに出ていること、系統的ではないということがあります。だから、美術の世界で系統的のものがどうかというのは別にしましても、本区の子

供たちの特徴からすると、親しみやすいのは日本文教出版、工夫があるなど思ったところ
でございます。

それからこの画質については、教科書もちろん良いと思いますが、タブレットで見る、
それで鑑賞するというのも必要な教材だと思います。この2社に関して言いますと、優
れていると感じました。

金子教育長)

ありがとうございました。

他にございますか。宜しいですか。

ないようでしたら、美術につきまして投票をお願いしたいと思います。

<委員投票、確認>

金子教育長)

只今ご確認いただきました通り、過半数を超えるものがございましたので、これで美術
についての審議を終了いたします。

教科書の入替えをお願いします。

それでは、保健体育に参ります。まず選定資料につきまして、事務局からご説明をお願
いいたします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。

ご意見を賜りたいと思います。いかがでしょうか。

新井委員、お願いします。

新井委員)

保健の領域について特に申し上げたいと思いますけれども、保健の領域では、特別単に
知識を教え込む、教師が教え込むというよりは、やはり生徒自らが考えて、その目指す
力にもありますけれども、自分で課題を解決しようという指導が適切ではないかなと考
えております。

そうした意味では、東京書籍の一つの例としまして、「性に関する適切な態度や行動の
選択」という単元で見ていきたいと思います。ここでは学習したこと、学んだことをしっ
かり深めていく、この取組がやはり大事で、知識があっても、それをこれから生かして
いくという部分が必要な観点だと思っています。そのようなところで見ていきますと、学
んだことを様々な問題に対して活用を図る能力、これを高める、これに注力しているの
かなという気がしています。特に学んだ後の活用場面ですね。画像では見づらいかもしれ
ませんが、読みますと、

<モニター投影>

ここまでの学習を踏まえて次の事例の背景や問題点を話し合ってみましょう。つまり、一

定程度の知識が入った後に、それぞれの考え方、それをしっかり持ち寄って、コミュニケーションを図っていこうというようなことがここでは書かれています。

それから、もう一つの別の視点から見ていって、SDGsのことにまた触れますが、東京書籍の場合にはSDGsの方向性が明確になっています。「私たちの未来とSDGs」ということで見開きから入っていき、単元の中でもそれが活かされているかなと思います。必ず学んだ後に、例えば26ページのここでは、「SDGsについて考えてみよう」というのを保健体育で入れている。これは非常に面白い切り口だと私は感じました。

それから大修館の方は、同じ性のところを見てみたいと思いますが、「性への関心と性情報への対処」、課題をつかむところを明確に示していますし、知識の部分ですね。こういった最近の諸現象についても記載はある。

まとめのところで、「学習のまとめ」のところ、東京書籍と少し違うのは、ここでは資料③の性情報の入手先を、情報の入手のしやすさ、情報の具体性、情報の正確性という視点で整理してみようということ、ここでは自分で座学的にまとめていこうというようなまとめをしているということですね。ですからどちらが良いのか、これは分かりませんが、実際にコミュニケーションしていろんな友達の情報を得て、そこから学習問題をさらに深めようという視点は、東京書籍は優れて書かれていると私は捉えたところです。

また、双方ともデジタル教材としては利点があって、よく構成されていると思います。
金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。宜しいですか。

特にないようでしたら、投票の方へ参りたいと思います。それでは、お手元の投票用紙で、保健体育について投票をお願いいたします。

<委員投票、確認>

金子教育長)

只今ご確認いただきました通り、過半数を超えるものがございましたので、これで保健体育についての審議を終了いたします。

続きまして、技術・家庭に参りたいと思います。

それでは、技術の選定資料につきまして、事務局よりご説明をお願いします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明が終わりました。

ご意見を賜りたいと思います。いかがでしょうか。

富士原委員、お願いします。

富士原委員)

3社を拝見しまして、どの教科書も自分が今すぐにでも使いたくなるぐらい大変充実し

た、特に作業に関しては丁寧な記述がなされていると思いました。その点ではどれを取っても良い教科書だとは思いますが、1点特色という点で言いますと、やはり豊島区ではSDGsと男女共同参画に大変力を入れているという点で見ると、実際技術を使って働いている人たちという具体例がたくさん、どちらの教科書さんも載せられていますが、男女のバランスでいうと、東京書籍が実際に技術を使って今の日本で働いている人の男女のバランスが一番良いと思いました。男性しか載せていないという教科書もございまして、やはり日本は今、工学と申しますか、理系、特にとても世界の中でも遅れているというところで、技術を学ぶ中で女性も自分も技術者として関わりたいという、そのようなモチベーションを上げるには、女性の現技術者を数多く載せるという、そうした工夫が必要かなと思います。

具体的にお見せしますと。

<モニター投影>

ただ単に女性を載せれば良いということでもなくて、例えばこちらの「すごいぞ！技術」というところでは、4人取り上げられているうち、3人男性で女性は1人です。ただ、別のところを見ますと今度、同じ「すごいぞ！技術」ですが、今度は逆で、女性が3人で男性が1人になっています。このように、工学に関わる男性、女性の性ではないというところで大変配慮がなされた取り上げられ方をしているなと思いました。この点が一つ目を引いたところでございます。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。

それでは、特にないようでございますので、この技術につきまして、お手元の投票用紙で投票をお願いいたします。

<委員投票、確認>

金子教育長)

只今ご確認いただきました通りで、過半数を超えるものがございましたので、これで技術についての審査を終わります。

引き続き、家庭について審査をいたします。選定資料につきまして、ご説明をお願いいたします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明ありがとうございます。

委員の方々からご意見を賜りたいと思います。

岩井委員、お願いします。

岩井委員)

家族や家庭生活、衣食住に関わる生活、消費生活、環境といった非常に身近で日常生活に直結した内容について学習して、身につけたい教科とっております。家庭科の教科書は、私も実は学生時代のものを備えています、一家に1冊置いてあると本当に役に立つ書物だと思うので、そのような部分を大切に作られている本を選びたいと思いました。

こちらを見せていただけますか。

<モニター投影>

豚肉の生姜焼きというページがございます。どちらの会社もこの豚肉の生姜焼きについて、きれいな写真でお料理の紹介、レシピが紹介されていますけれども、こちらの東京書籍の方では見開きページで、豚肉の生姜焼き本体だけでなく、ご飯と具たくさんの汁物、そしておひたしのような小鉢も写り込んでいて、そのレシピもこちらの方に掲載されています。また配膳例として、こちらの方に掲載されている写真からは、和食の食器の正しい置き方、そして盛りつけ方も学ぶことが出来ます。こちらレシピが続いていくのですが、ハンバーグ、サケのムニエル、サバのみそ煮も全く同じレイアウトと内容となっております、単にレシピ通りに作って豚の生姜焼き終了ではなく、この食卓というリアル感のある構成や、今晚にも使いたいなと思える丁寧なつくり、紙面作りが良いと思いました。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。

どうぞ、大澤委員。

大澤委員)

男女の参画が必要ということで、私の友人が若い頃、外国の研究機関に勤めていました。独身でいまして、そこの上司から、「君、結婚をするんだったら料理が出来ないと結婚出来ないよ」と言われたらしいですね。先程の豚肉の生姜焼きですが、僕は作った記憶があるのは子供の頃です。ハウレンソウのバターいためぐらいしかやったことがなかったですね。豚肉というのはなかったような気がします。

金子教育長)

ありがとうございます。

私も小学校のときは、ハウレンソウでしたね。古い話。今は生姜焼きなのですね。

他にございますか。宜しいでしょうか。

特にないようでしたら、投票の方へ参りたいと思います。選定すべき教科書につきまして、投票をお願いします。

<委員投票、確認>

金子教育長)

只今ご確認いただきました通りで、過半数を超えるものがございましたので、これで家庭についての審議を終了いたします。

それでは、外国語ですが、少し早めですけれども入替えもありますので、一旦10分の休

憩をいただきたいと思います。暫時休憩いたします。10分後に再開いたします。

(13時 45分 休憩)

(13時 55分 再開)

金子教育長)

それでは、10分程度たちましたので、再開をさせていただきます。

続きまして、外国語の審査に入ります。それでは外国語の選定資料につきまして、事務局からご説明をお願いします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明ありがとうございます。

それでは、委員の方々からご意見を賜りたいと思います。

新井委員、お願いします。

新井委員)

英語については、小学校と中学校の接続、これが非常に大事なところだと思いますので、それも一つの観点として考えています。

それから、SDGsをどのように教材化しているかというところにも興味があるところでしたが、いずれにしても各社とも学習指導要領にのっとった指導要領については、それぞれ各社の個性が出ているという感じがいたしました。

本区の特性を考えますと、やはりタブレットを上手く活用出来るか。デジタル教材を上手く取り入れられるか。あるいは家庭学習についても汎用性が得られるのかといったところが一つポイントだと思っていますし、また文法事項が小学校では文法、グラマー等そこまで深くはやらないわけで、それについてどのように柔軟に取り入れていくかというのも一つのポイントになると思います。

特に児童が、中学校に入って、人称代名詞であるとか、一般の三人称単数形の現在形、「s」の付け方、あるいは疑問、否定文の助動詞の使い方というのが、慣れてくればいいですが、やはりグラマーとして押さえなければいけないというところがあって、逆に難しくて英語を嫌いになるということもあると私自身は思っていますので、その辺で各社ともそれぞれ工夫があって、良さが見受けられました。

国際理解教育の観点から言うと、まず英語にしっかり注力していくということも大事なことで、中学校英語の役割というのは高いと考えます。

またSDGsをどこに組み入れているのかというのも、非常にポイントだと思います。

東京書籍の場合は話す領域が比較的多いですし、デジタル教材は非常にきれいで、生徒が取り組みやすい画像のものが非常に多いと思っています。二次元コードも豊富で活用の幅が非常に広がる、そのような教材だと思います。これは他には、なかなかないのではないかなと私自身は思いました。一般的に聞く領域というのは割合が高いのですが、東京書

籍の場合は、話す領域に非常に特化しているというのが特徴として挙げられると思います。

また単元の構成も工夫されていて、プラクティスを取り入れアクティビティで定着を図るという、そのような構成だと思います。デジタルのツールボックスでしょうか、これも多彩だと思いました。

それからQRコードについてはどの社も取り入れてございますけれども、東京書籍の場合は回数表示、繰り返して何回やったかというところも細かなところに、やはり手を入れているということが感じられます。

またSDGsについても、

<モニター投影>

1年生のユニット8のところですが、ここは単元全体をSDGsについて特化したThink Globally, Act Locally、このところをずっとSDGsについてしっかり学んで定着を図っているというところが特徴だと思います。また、2年生でも3年生でも、SDGsを教材化して単元に柔軟に取り入れている、そんなところが感じられました。

光村図書も、SDGsは表紙裏等を出していますけれども、小中の連携といったところで良いとは思いますが、学習時間が8時間取っているのでしょうか、少し多いというところ、これは光村図書の場合には感じられたところですね。東京書籍の場合は比較的接続については柔軟という感じがします。

また、文法事項で感じたことは、三省堂のNEW CROWNも文法の特徴があって、やはり1年生で現在、過去、未来、これを習ってしまうというのが特徴だと思います。各社ありますが、なかなかそこまで踏み込まないことが多い中で、2年生でほぼ困難とされている現在完了等をやって、3年で受動態、関係代名詞、仮定法を学ぶというシステム。ですから、文法の指導事項に三省堂は少し特色があって、これは良い悪いは別としましても面白い構成だと感じました。

いずれにしても、話は戻りますが、デジタル教材、これをどのように使うか、これは教師の力量にもよりますけれども、使いやすいものだと思います。このようなことから言うと東京書籍のNEW HORIZONの構成は素晴らしいと思いますし、道徳の内容にも絡めているとも聞いておりますので、繋がっていく教材だと思いました。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

富士原委員、お願いします。

富士原委員)

本当にどの社も工夫を凝らされていて、自分だったらどれでも良いと思いながら拝見していましたが、やはりデジタルの部分がどれだけ充実しているのかというのは、今の新井委員がおっしゃった通り、一つの重要なポイントになると思いました。

特に私が大学の教員だからということでもないですが、小学校との連続という点も大事な一方で、やはり中学校になってからの英語、語学の学習という点で、小学校と連続しつつも切れ目ということも大事かなとも思っております。その点で見ますと、辞書の使い方の扱いが違っている点に注目します。私はやはり辞書を速く引くというのは小学校と中学校の大きな学習活動の違いだと思いますし、今は紙の辞書もですが、デジタルな辞書もありますので、辞書をどのタイミングで使わせるのかというのは特に1年生にとっては大きなポイントだと思っていました。そのときに本文中にといいますか、しっかりセクションを取って辞書の指導をしている教科書会社が3社、それと巻末資料に挙げている教科書会社が2社、それと実は東京書籍は動画で確認となっています。

私は個人的には、辞書の使い方はきちんと学校で学ばせてほしいという気持ちがあります。そういう点で言うと、例えば三省堂は辞書の使い方が大変丁寧に説明されていると思いました。

それから、これも三省堂の特徴ですが、三省堂以外はほとんどが活動ノートの出来たかどうかの振り返りを4段階のマークでチェックする形になっているのに対し、三省堂だけはそのチェックは一番巻末の「CanDoリスト」にしかありません。基本的に振り返りが4段階ではなくて、日本語で書いてある文章で出来たかどうかを自分でおそらく何らかのツールを使って、まさに先生の指導の仕方によると思いますが、振り返るという形にしているため、マークがないのではないかと思います。ニコニコマークというのでしょうか、このようなマークが教科書によって四つとか三つとかありますが、これにチェックしていくのがいいのか。もしかすると三省堂は言葉で振り返るというようなことを想定しているかもしれず、どちらがいいのかは私も迷うところです。そのようなところで、先程、新井委員の方からも文法が三省堂は広がっているということをおっしゃいましたが、辞書の使い方などのページも含めて、中学校らしいといえますか、これが良いことなのかどうかはまた別として、従来の中学校の教科書の良さを引き継いでいる部分は大きいのかなと思いました。

先程も指導課長からも新井委員の方からもありましたが、教育出版社の導入部が長いというのも善し悪しの両面があって、接続の意味では長い方が良い。ただそれほど時間もかけられないという。やはり各社の工夫が両面あって、大変悩ましいというのが感想ですが、そのような目で委員の先生方もいろいろご検討いただければと思っています。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。宜しいでしょうか。

それでは、他にないようでしたら、外国語につきましてお手元の投票用紙で投票をお願いいたします。

<委員投票、確認>

金子教育長)

只今ご確認いただきましたように、過半数を超えるものがございましたので、これで外国語についての審議を終了いたします。

それでは教科用の最後の科目になります。道徳です。本を入れ替えてください。

それでは、道徳の選定資料につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

説明ありがとうございました。

それでは、委員の方々からご意見を賜ります。

大澤委員、お願いします。

大澤委員)

道徳というのは、いかに人に親切にするかというよりは、優しくなれるかということが出来るかどうかという子供たちにそういう意識を持ってもらう。とにかく優しいということを中心の中に持ってもらうことが一番大事だと私は思います。ですから、それを体現出来るような子供たちに、先生方が指導するというのは非常に難しいと思います。

私の親戚が、障害のある子供たちのボランティアをしています。とてもみんな優しいと言っています。そういうことから、道徳というのはおそらくどれだけ相手のことをやり思えるかということだろうと思います。宜しいですか。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。

富士原委員、お願いします。

富士原委員)

今、大澤委員がおっしゃった通り、やはり相手がいてこそその道徳ということですので、道徳こそ一番対話的な学びが充実している教科書作りである必要があると思います。

その点で言いますと、対話的な学びでしかも一つの価値観の方向付けをしない、つまり人はみんな違うわけですので、その人にとっての優しさは何かということはいろいろ違うので、そのようなことを多角的に話し合えるような、そういう教科書、教材が大事なかと私も考えます。

その点で言いますと、実はそんな大きな教材ではないですが、東京書籍で哲学対話、P for C (Philosophy for children) の実践を取り上げています、

<モニター投影>

いわゆる答えのない、道徳教育に詳しい方はご存じの実践だと思いますが、このような探求の対話、つまり答えがないものをみんなで考え合うという、どうしても昔の道徳は価値観の探り合いだったので、そうではない道徳の実践を。実際現場の先生がどれだけ実現出来るかというところは、なかなか難しいところもあるかもしれませんが、こういう実践を

積極的に取り上げているというのが宜しいかと思えます。光村図書でも「今日の哲学」という形で、やはり子ども哲学といえますか皆で考え合う、答えのないことを考え合うという、まさに対話の時間を積極的に設けるコーナーがあるというのは大変好ましい教材、アクティビティではないかと思いました。

その点で言いますと、光村図書の方が結構、全学年とも道德の学習において、ポイントの一つ目が、答えは一つではないということ、先程も申し上げた通り、昔の道德が一つの価値に子供を収斂させようというようなものになりがちの中で、道德という授業のポイントの一つとして答えは一つじゃないということ、これを第一に挙げているというのは、これはスタンスとして、大変明確だなと思いました。

道德はどういう教科かということ、大澤委員に続けてお話しさせていただきました、これがもしかすると二人の道德教育観に何か依存するのかもしれませんが。

それ以外のところで、一つ具体的な教材などを見ると、大変迷いますのが生身の今生きている方、しかも若い人物を取り上げるとは善し悪しの両面あると思えます。指導課長から説明いただいた通り、子供たちが注目している人物を取り上げることで、道德に興味を持ってもらえるという側面と、やはり取り上げられた人の若者の人生を、道德の教科書に取り上げてしまったがゆえに、その意味で注目されてしまうというような難しさがあると思えます。その辺は委員の先生の方々でご判断いただきたいと思っています。イチローさん、山中伸弥さんぐらいの40代、50代とある程度年齢が行って行けば、まだいいのかもしれませんが、20代の若者を結構取り上げている教科書があつて、これは興味を引きやすいという点ではプラス、ただ取り上げられた人物にとっての人生の負担にならなければいいなという心配がございます。

ただ、子供たちに生々しく道德の問題を考えてほしいと思えば、そのような生の教材を持ってくるといのはよく分かることです。その点で言うと東京書籍で一つ特徴的なのが、2年生で、一例ですけれども、生徒作文というのを持ってきているのが注目できます。一応全社を網羅して見たつもりではいるのですが、この生徒の書いた作文を載せているのが東京書籍のみで、これを手にする子供たちにとっても同い歳の子供が書いたものかどうかというところでは、大変興味を引きやすい一つ教材文の工夫なのかなと思いました。

道德は、大変難しいのです。

金子教育長)

ありがとうございました。

他にご意見いかがでしょうか。宜しいですか。

それでは、ないようでしたら、投票に参りたいと思います。お手元の投票用紙で投票をお願いします。

<委員投票、確認>

金子教育長)

それでは、只今ご確認いただきました通り、過半数を超えるものがございましたので、

これで道徳についての審議を終了いたします。

以上、教科用図書につきましては審議が終了いたしました。

(1) 第21号議案 豊島区立学校教科用図書採択について

金子教育長)

続きまして、第21号議案 豊島区立学校教科用図書採択についての審議に入りたいと思います。

初めに、特別支援学級に在籍する児童及び生徒対象の一般図書について、事務局よりご説明をお願いいたします。 指導課長、お願いします。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明が終わりました。

各委員からご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

新井委員、お願いします。

新井委員)

説明の意味がよく分かりました。削除は小学校12冊、それで新規が0冊ということですが、この新規ということは、候補に挙がったものがあって、それについて検討されたということはあるのか、その点、教えていただきますでしょうか。

金子教育長)

指導課長。

指導課長)

新規については挙がっていません。それよりもやはり現状のものをこれまでいかに活用してきたかということ、計画等を念頭に置いた上で選定しております。それと星本の使い方というところも小学校に関しても本当に目が行くような網羅された国の教科書ですので、そこをやっている。新しいものはございません。

金子教育長)

新井委員。

新井委員)

ありがとうございます。よく分かりました。

いわゆる一般図書を通常の教材としてしっかり使って、星本もそうですが、使っていくという方向性をここで仕切り直しをした、そのような感じですか。

金子教育長)

指導課長。

指導課長)

一般図書が合うというお子さんにはそのようにします。星本が必要な方にはそうですが、基本的には皆さんと同じ教科用図書を工夫して使っていくという方針の方が大きいかと思っています。

新井委員)

承知しました。

金子教育長)

他にご意見、ご質問ございましたらお願いします。

岩井委員、お願いします。

岩井委員)

今、新井先生のおっしゃったことに近いのですが、一般図書は子供の実態に合ったものが良いと考えますが、やはり今の教科書はユニバーサルデザインの考えが広がり、誰にでも使いやすいように非常によく工夫されていると思いますので、子供たちの将来を考えると、一般図書ありきではなく、まずは通常の教科書はどうか、次に星本はどうかと丁寧に順序立てて吟味した上で検討していただけていると思います。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にごございますか。宜しいでしょうか。

特に他にご質疑なければ、採決をいたしたいと思います。

それでは只今のご説明の通り、資料に記載の一般図書について、採択をすることにつきまして、ご異議ございませんか。宜しいですか。

(委員全員異議なし)

金子教育長)

では、異議なしと認めます。

それでは報告を了承し、採択をいたします。ありがとうございました。

次に、中学校の教科用図書について、事務局よりご説明をお願いします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。

これにつきましてもご質疑ありましたら、宜しく願いいたします。

一般図書を充実させていくという方向については、小学校と同じ方針で、数年前から臨んできております。その結果と理解しておりますが、ご異議ございませんでしょうか。宜しいですか。

それでは、特にご質疑ないようですので、これにつきましても採択をしたいと思います。

(委員全員異議なし)

金子教育長)

それでは、異議なしと認めます。

報告を了承し、これにつきましても採択をいたしたいと思います。ありがとうございました。

それでは、以上一般図書については終了いたしましたので、先程来検討してまいりました中学校教科用図書につきまして、事務局よりご説明をいただけますか。結果の集計が出来ているようであれば、お配りください。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

只今事務局から投票の結果、中学校教科用図書についての説明がございました。全体について、改めて各委員からご意見等ございましたら伺いたいと思います。宜しいでしょうか。

それでは先般の審議結果を踏まえ、今見ていただきました資料に記載の発行社16冊分の発行社の教科書を採択いたしたいと存じます。ご異議ございませんでしょうか。

(委員全員異議なし 第21号議案了承)

金子教育長)

異議なしと認めます。

それでは、豊島区立中学校教科用図書採択結果一覧(令和7年度～10年度使用)を了承し、採択をいたしたいと思います。ありがとうございます。

最後に、本年度の教科書採択の終了に際しまして、私より一言御礼を申し上げます。三つのお礼を申し上げます。

一つ目は、委員の皆様から自らの知見に基づきまして、様々なご意見いただきました。本日は本当にありがとうございました。

2点目です。どの教科書会社さんも種々の工夫を凝らしておきまして、素晴らしい教科書を作っていただきました。全ての教科書関係者の皆様に対しまして、教育委員会を代表しまして御礼を申し上げます。

加えまして、審議と採択にわたる教育委員会を傍聴いただいた皆様、また、過日開催いたしました教科書展示会におきまして、熱心に教科書を閲覧いただき、意見をお寄せいただきました皆様にもこの場を借りまして、併せまして御礼を申し上げたいと思います。

長時間にわたるご審議ありがとうございました。豊島区の子供たちのために、適切な教科書の審議・採択を行うことが出来たと思います。

以上をもちまして、第21号議案の審議を終了いたします。ありがとうございました。

庶務課長。

庶務課長)

豊島区立学校教科書用図書採択事務要綱の規定により、教科用図書の調査・研究・選定に関して知り得た事柄につきましては、8月31日までは守秘義務を課す内容ですので、遵守をお願いいたします。

私からは以上でございます。

金子教育長)

それでは、審議につきましては以上でございます。ありがとうございました。

(午後 14時 47分 閉会)